明治大学校友会
柏地域支部

富士山頂の御来光 武内会員撮影

― 第７号 ―
発行日 平成23年1月1日
発 行 明治大学校友会千葉県西部支部柏地域支部
発行人 宇都宮 幸正
住 所 〒277-0066 千葉県柏市中新宿1-2-21
電 話 04-7173-7301
編 集 山田 秋彦
(☎ 04-7169-0333)

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：http://members3.jcom.home.ne.jp/meiji-u.kouyuukai.kasiwa/

P1：全国校友山形大会
P2：我が国農業の原点考察（柳内隆平）、旅の思い出（佐々木利夫）
P3：校友会学縁談話（山田研一）
P4：定期ゴルフ大会、役員の改選、イベントのお知らせ

全国校友山形大会に参加して

昭和45年文卒
柴田良子

二〇一〇年九月五日(日)、明治大学全国校友会山形大会に、猪瀬西部支部長・宇都宮柏地域支部長・加茂幹事長、柴田の四名が参加致しました。

明治大学創立者の宮城浩蔵先生の出身地(天童市)での山形県民会館大ホールにて全国より千三百余名が集まり、向殿校友会会長の御挨拶に始まり、大学職員・校友会役員・六大学山形県支部・吉村山形県知事を始めとした御来賓の御紹介・祝辞を頂きました。特に今年度の受験者数が、早稲田大学を二百名抜き、日本一という快挙を成し、次年度も続けと大いに盛り上がった大会でございました。

吉村山形県知事↑
本大会(9月5日)

左から加茂幹事長、宇都宮地域支部長、猪瀬千葉県西部支部長、筆者

全国大会に先がけ、九月四日(土)に山形グランドホテルにて、七百余名が集った前夜祭(懇親会)に宇都宮支部長ともども参加し、山形渋伊東実行委員長による歓迎の御あいさつ・乾杯と綺麗どころによる祝舞、鏡開き、花笠踊り、和太鼓と大変なにぎわいでした。米どころとぶどうの産地でもありますので、日本酒とワインがとってもおいしく、酔う程堪能してまいりました。

９月４日前夜祭

９月５日懇親会

全国大会終了後、別会場での千三百余名の懇親会が大いに騒々しく行われ、日本でも有名な芋煮会も催されましたが、アッというまになくなり、口にすることが出来ず残念でした。

二〇一一年は東京大会ですが、二〇一二年は静岡大会で、既に会場をおさえてあるそうです。静岡・大分県の参加者が多く、すでに下見がてらいらしたそうですよ。

同じテーブルで隣りあわせた浦安の松崎さんとの約束で、十月の市長選に差し入れがてら行ってきました。これも校友会ならではと思います。

向殿校友会長が話されていた大学の発展には、どうしても**校友会の皆様の力が必要**との言葉でございました。

昭和四十五年 文学部卒 柴田良子

我が国農業の原点考察(三)

昭和35年法卒
柳内隆平

昭和二十年八月十五日、日本国が戦勝連合国のポツダム宣言を無条件で受諾した旨の、昭和天皇の玉音放送があった日から、米空軍の艦載戦闘機の飛来がなくなりました。農民もこの時点から安心して農作業に従事することが可能になりました。私の実家は太平洋の沿岸都市である現在のいわき市（当時は市町村合併前の平市）の近郊農村で、太平洋上の米航空母艦から発進した艦載機が、空爆のため郡山市内の軍需工場へ向かう航空路下に位置していました。このような立地条件にあったので、小学生の水遊中に何度か機銃掃射を受けましたが、一度も被弾しませんでした。

今しみじみと回顧しますと、当時の米軍パイロットは教養があり、意図的に住民に対する非人道的な攻撃は避けたものと思われます。さらには既に日本の敗戦機運が濃厚になっていたので、非戦闘員に対する無益な殺傷行為を避けるよう、米軍指導部から現場兵士に対する指令が徹底していたものと推察します。日本の敗戦が濃厚になってきた昭和十九年後半から二十年前半にかけて、艦載機の飛来が多くなりましたが、農作業に従事していた農民を含む住民には銃撃による被害は皆無でした。

我が国農業の原点は牛馬を飼育して、馬屋（うまや）で稲藁（いなわら）を牛馬糞（ぎゅうばふん）を踏ませて作った堆肥（たいひ）を水田・畑に施肥し、化学肥料を可能な限り使用しないことです。化学肥料を多用した稲作は稲草の足腰が弱く、七月から九月に亘って日本列島に上陸する台風の強い風雨により、その大半が薙（な）ぎ倒されますが、自然有機堆肥を施肥して耕転した場合には、その被害が皆無に近いことが立証されています。現在もこの認識は農業関係者間で共有すべき常識事項です。さらに話題を拡充しますと、現代社会で楽しんでいる家庭菜園愛好者も化学肥料をベースにした施肥慣行を改めて、牛馬糞・鶏糞等を中心とした有機質肥料を主体とし、化学肥料は補助肥料とすることをお勧めします。強いて化学肥料の効用を論ずるなら、作物の成長を早める機能と、工場で大量生産された人口肥料なので、窒素・燐酸・加理の三要素を理論的に含有していることです。

農業の第一義的機能は全国民に十分な食料を供給することです。第二議的機能は自然の環境を保全することであり、この観点では林業も同様に位置づけられます。

戦後我が国の化学技術産業の発展に伴い、合成洗剤と除草剤が大量生産され、一般家庭と農家に普及しました。その結果、これ等薬剤の廃液が大小河川に流入して、清流な河川を汚染しました。その結果、河川に生息していた川エビ・ドジョウ・フナ・ナマズ・ウナギ・バカカチカ等の川魚が絶滅の危機に追いやられました。私たちが小学校時代に捕獲を楽しんだ川魚が、一部の地域を除いて中小河川に生息していないとは、全く淋しい限りです。

川魚の激減又は絶滅の更なる要因として忘れられないのは、水田へ用水路をコンクリート化して、水流のスピードの調整を図ったことです。川魚が本能的に活動して、水中の小さな虫とか苔（こけ）類を餌として水の清浄化に役立っていた事実を理解せず、自然環境を破壊していった地域住民の生活様式に問題があったものと思います。

次号(最終回)につづく

旅の思い出(一)

昭和42年法卒
佐々木利夫

柏市が中国の承徳市と姉妹都市を結んだ一九八四年夏、それを口実に、中国旅行がしてみたいと考えました。そして、知人・友人・子供親戚総勢二十名で、八月のお盆を中心に一週間の日程で、北京・承徳両市を訪問しました。

参加メンバーの年齢構成も七歳から七十七歳までと幅があり、男女混合でありました。先の心配を何もしないまま、よく自分が団長で出かける気になったものだと、二十六年後の今になって冷や汗がでます。

北京では、天壇公園、明の十三稜、八達嶺の万里の長城、頤和園等を見物し、承徳市では明時代の乾隆帝の避暑山荘を散策し、外八廟を見物しました。外八廟のある寺で歓喜仏をみて「仏教」に対して考えが少し変わりました。北京では、西太后が二度にわたって大金を掛けて建設し、一年の三分の二を過ごしたといわれている「頤和園」で事件がおきました。「頤和園」は、面積二百七十万平方メートル、園内の湖「昆明湖」が全体の四分の三をしめてはいるもの

の、陸地の公園の面積たるや、なんと七十万平方メートル余もあります。

ハプニングは、最年長の男性が頤和園の中で迷子（老人）になったことです。気がついたのは、出口の広場。入口から全員が入って、出口にバスを待たせてあるので、時間を決めて出口で会うことにしてあったのですが、一人いない、しかもどこまでいっしょだったか誰も知らない。入口では全員揃っていたことは自分で確認していたので、中にいることは確かでしたが…。

しかし、入口から出口まで距離で約二キロメートル、幅が約三・五キロメートル、この中でたくさんの施設や山があり、大木の林があるので、それらの影に倒れていたりでもしたら、発見は難しそうです。しかも園内放送はなし。まわりは全部中国人、参ったなあ、お手上げだなあ。まさに途方にくれるところでしたが、瞬時に気持ちを切り替えて、今、最善の策はと考え、二人ひと組になって横に並び、そのまま探しながら、入口まで行ってもらうことにしました。そして、入り口付近で全員集合ということにしました。入口までの途中では発見できず、絶望的な気持ちになったのですが、疲れた顔で入り口の待合室にはいったら、職員とにこにこしながら話をしている「老人」がいるではありませんか。この人こそ「探していた人」でした。本人は少しも不安げの様子もなく、わたくしは「四十七士が吉良上野介を発見した時の安堵と感動」はこのようなものではなかったかと、思うほど「ほっと」しました。

ちなみに、その待合所は、わたくしが約三尺の「木彫の観音像」を買った所でした。観音様の御利益があったのか?帰りの飛行機ではこの観音像をＪＡＬのスチュワーデスが二人分の座席に横に乗せてくれました。もちろん飛行機は無事成田へつきました。その観音像はいまも自宅にあり、子供たちの祈願の対象となり、時折くる孫たちが手を合わせています。

昭和四十二年法学部卒　佐々木利夫

頤和園の入口と昆明湖の石船

校友会学縁談話

昭和52年法卒
山田研一

株式会社　浅野板金

柏地域支部設立総会後の第一回通常総会の懇親会において、浅野板金の社長と同席する機会に恵まれました。「バンキン」の言葉に自動車修理の板金を思い出しながら、雑談をしました。その後幹事会で、役員になっている社長の妹さんとの会話の中で、「事故も起こさないし縁が無いかなと思っている」というような話をしたら、「え、うちの会社は屋根専門の建築屋です」との答えに「え、屋根屋さんなの・・、それならちょっと相談があるのだけど」・・・。

私の住まいは、父の仕事の関係で日立化成ハウスが建てた住宅で、その当時はモダンな陸屋根でした。見た目はいいのですが、難を言えばトタン葺き鉄板なので四，五年ごとに塗装を施さなければならないことと、屋根にたまる落ち葉の片付けです。私の住んでいるところは、斜面林が道路わきにあり、秋には落ち葉が道路いっぱいに散って、屋根にも同じように降って来ます。その落ち葉が陸屋根の内側にある樋につまって、台風などの大雨のときは溢れることがあります。そこで、落ち葉の季節になると、屋根に上がり落ち葉を取り除くのが、年中行事となっていました。多い時には、レジ袋で三杯ほどの量を取り除いていました。

若い時は、苦にならなかったものが、五〇歳を超えると億劫になり、作業の手を抜いたら、漏電による停電を起こしてしまいました。そんなことがあったとき、お会いしたのが「浅野板金」さんだったのです。「陸屋根を普通の屋根に葺きなおしてもらいたい。」との願いを、営業の妹さんは、「できますよ。それにうちの製品は、オンリーワンを目指す、メンテナンスフリーの屋根ですから。」ということで、即答で依頼しました。

しかし、社長のお兄さんは、やはり技術屋さんですので、何回か自宅まで下見に来ていただく検討をくりかえし、四年の歳月を経て無事屋根の葺き替えができました。そして、一番困っていた落ち葉対策は、樋に筒状の網を乗せる事により、落ち葉がスムーズに樋から落ちるので、全く気にならなくなりました。加えて玄関も浅野型庇を工夫していただき、雨に濡れずに傘をたたんで入れるようになりました。その間、太陽光発電の補助金が復活し、せっかくだからそちらの検討も、という勧めもあって同時施工し、その後の政権交代で、発電電力の買い取り価格が倍額になり、今は買う電気料金よりは、

売り渡す電気料金のほうが高くて、女房も喜んでいます。私は屋根に上ることから解放されました。又、メンテナンスフリーの塗装経費節減で、これからの老後の生活にも大いに貢献することになりました。これも、柏地域支部が発足しなければ、かなえられなかった学縁と思っております。オオ明治、明治大学に感謝です。

昭和五十二年法学部卒　山田研一

【↑】浅野型庇(ひさし)

吹き替えた屋根と太陽光発電パネル、落ち葉対策した雨樋

屋根・外壁・雨樋のご相談はお気軽に
浅野板金まで☎04-7163-3141

定期ゴルフ大会

平成二十二年十一月九日（火）、紫カントリークラブあやめコースにおいて、第五回柏・流山地域支部ゴルフ大会が開催されました。参加人数二十二名（柏十三名、流山九名）最年長猪瀬千葉県西部支部長をはじめ、初参加の校友会員など昭和二十八年卒から平成三年卒と年齢層の広いコンペとなりました。

優勝は永井康雄さん（柏）、第二位松本達蔵さん（柏・新入会員）、第三位海老原暁さん（流山）でした。懇親会においては初参加の桜田義孝さんより、最近の政情についてのお話を頂きました。次回は五月開催です。ご参加ください。

役員・幹事の改選

昨年六月、任期満了に伴う役員の改選が審議され、以下の役員・幹事が選任されました。任期は二年、平成二十四年六月まで、この役員構成で活動する予定です。会員の皆様のご支援・ご協力・ご意見・ご指導、よろしくお願いいたします。

支部長　宇都宮 幸正
副支部長　萩原 功　山内 勇
　山澤 治明　坂巻 真一
監査委員　渡邊 福次郎　佐々木 利夫
幹事長　加茂 治男
幹事　駒田 泳三　土田 昭
　吾郷 春男　柳内 隆平
　寒川 博行　植田 宗康
　中川 純子　奥谷 邦啓
　伊東 忠雄　平賀 陸太
　神野 美明　荒木 康生
　山田 研一　山田 秋彦
　勝俣 清三　染谷 清高
　浅野 富美代　小林 健一
　小川 功　石原 敏和
　小倉 孝之　斉藤 篤
名誉支部長　猪瀬 主税

イベントのお知らせ

●新春の集い
一月二十三日(日)午後一時
於　麗宮飯店（柏駅西口）

●第九回柏地域支部総会
平成二十三年五月八日
於　三井ガーデンホテル柏

イベントのマーク　●：当会が主催・共催・協賛、■：上位組織が主催、○：当会会員の出演がするイベント（確認できたもの）

●ゴルフ大会
春夏二回開催され、次回は五月の予定です。詳細は加茂幹事長まで

■千葉県西部支部総会
平成二十三年六月五日
於　三井ガーデンホテル柏
（開催は柏ですが松戸支部の当番）

○講談観賞会
寶井講談修羅場塾第五十三回講演、六月五日(日)、お江戸日本橋亭、本会会員の佐々木利夫（琴山）さんが出演予定です。

○合唱鑑賞会
三月十三日(日)さわやかちば県民プラザで、流山市合唱連盟主催のアンサンブル交歓会が開かれます。午後一時開演で、本会会員の勝俣清三さんが出演予定です。

■ホームカミングデー
十月に本校で開催されます。今年は昭和三十六年、四十六年、五十六年、平成三年、平成十三年卒の方が招待の対象です。

●マンドリン倶楽部演奏会
十月二十九日(土)柏市民文化会館大ホールにて明治大学マンドリン倶楽部演奏会が開催されます。本会の本年最大の事業なので、ご支援ご協力よろしくお願いいたします。

■明治大学全国校友東京大会
十一月三日(祝・文化の日)
於　明治大学アカデミーホール
出席御希望の方はご連絡下さい。